

# コロナ禍における 岐阜大学の教育学生生活に関する取り組み



岐阜大学 学長  
森脇 久隆

## 安心して学べる 環境づくり

本学は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見極め、国・県の対策方針や専門家の意見を取り入れながら、学生をはじめとする大学構成員の安全を確保しつつ充実した教育を行う

方策を検討してきました。また、コロナ禍で不安になっている学生の心のケアについても対応してきました。大学教育は知識習得のみを目的とするものではなく、事象に対する判

断や考え方を深く学ぶことができる対面授業は大学教育の根幹を成すものだと考えから、特に大学の学びに慣れていない1年生の授業については、できるだけ対面授業が実施できるよう、早い段階から努めてきました。

これから岐阜大学入学を目指す皆様にも安心して大学生活を送ってもらえるよう、本稿で本学の取り組んできたコロナ対策の一部をご紹介します。今後も、より一層安全に配慮しながら教育の質の向上を目指してまいりますので、皆様のご理解・ご協力を賜りたいと思います。

## 授業における取り組み

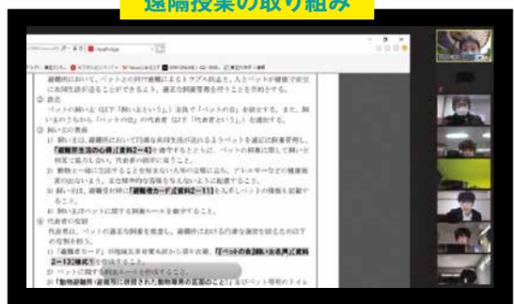
### 教室の定員制限



### 消毒、ウェットティッシュの配置



### 遠隔授業の取り組み



ZOOMを活用した授業の様子

教室の密状態回避のため、受講者数が教室定員の6割以内になるよう履修登録者数を制限し、さらに大学内の滞在者数も通常の6割程度に抑えるため、教育の質を確保しつつオンライン授業の導入などの工夫を行ってきました。また、各教室や各フロアに消毒液やウェットティッシュを配置したり、マスク着用を促すポスター等を作成したりするなど、感染予防の呼び掛けを日常的に行っています。

## 学生生活における取り組み

昼食時の食堂の混雑解消のため、キッチンカーを学内に配備するとともに、食事をする場として一部の教室を開放しました。また、岐阜大学生協の協力を得て、食堂にパーティションを設置し、感染防止に努めています。

### 食堂のパーティション配置等



### 昼食用に教室を開放



### 混雑緩和のための キッチンカー



相談無料で  
秘密は守られます

### メンタルヘルスのオンライン相談



### 問い合わせはこちら

保健管理センターでは  
皆さんが健康な学生生活を  
送れるようサポートしています。



新型コロナウイルス感染拡大防止措置としてサークル等の課外活動が制限されるなど、友人と会って会話したり相談したりする機会が減ってきています。そうした状況に不安を抱える学生をケアできるよう、精神科医や臨床心理士によるメンタル・ヘルスのオンライン相談を開始しました。一人で抱え込まず、ぜひ保健管理センターで専門家に相談してください。

## 金銭的支援

### PC・タブレットの購入支援

学内の密状態を回避するオンライン授業に対応するために急速パソコンやタブレット等の購入が必要になった学生に対し、購入費の無利息貸付(上限10万円)を行いました(成績が優秀であれば返還が免除されます)。

### 留学生支援

留学生に対し、入国後の防疫措置によりホテル等に滞在する際の費用の一部を支援し、新型コロナウイルス感染拡大の影響で緊急に資金が必要な場合に利用できる、無利息での一時貸付を行いました。また、特例として、帰国困難者に対しては、留学生宿舎の入居の延長措置を行いました。

### 学生支援プラン

本学独自の「学生支援プラン」の取り組みとして、親元を離れ大学生活を送っている学生に、学業に安心して専念でき、夢をあきらめることなく前向きに学生生活が送れるよう、生活支援金(3万円)の給付を行いました。

### 学生を大学で雇用

新型コロナウイルス感染拡大の影響でアルバイト収入がなくなった学生を雇用し、オンライン授業の資料作成や授業撮影、動画編集等を行っていただきました。この取り組みは、学生の生活支援につながっただけでなく、授業担当の先生方の負担減にもつながったため、たくさんの先生方から感謝の言葉をいただいています。